

テッピー里山トロッコてつどう教室



©小湊鐵道株式会社
2017年10月25日

関東運輸局では、地域鉄道の活性化に対し積極的な支援を行っており、その一環として沿線の子もたちに鉄道の安全な利用方法を学びながら、地元の鉄道に親しんでもらう「てつどう教室」を鉄道事業者とともに開催しています。

今年は、10月25日に小湊鐵道五井駅（千葉県市原市）において「テッピー里山トロッコてつどう教室」を開催しましたので、ご紹介します。

小湊鐵道は、千葉県房総半島で懐かしい里山の風景の中を走る地域鉄道。里山の風景を沿線地域一丸となって守る取組は、2017年にグッドデザイン賞を受賞しています。

そんな小湊鐵道では、トロッコ列車を土・日中心に運行しており、今回のてつどう教室では、そのトロッコ列車を活かして鉄道に親しんでもらう内容を企画してくれました。

台風一過の気持ちよい晴天から一変、開催当日はあいにくの小雨模様。予定通りの開催が出来るかどうか心配でしたが、小湊鐵道で五井駅に到着した園児たちは、列車を降りるやお天気とは正反対に元気いっぱいの様子。大人の心配などいとも簡単に吹き飛ばされてしまいました。よって、本日は雨天決行！

そんな今回のてつどう教室の時間割りは、

- ① 鉄道の乗り方クイズ教室
 - ② トロッコ列車の乗車体験
 - ③ 列車と綱引き
- です。

1時間め：鉄道の乗り方クイズ教室

まずはしっかりと勉強から。「ホームで走ってもいいのかな？」などのクイズに、みんなは「だめーっ！」や「ばつーっ！」と、とても元気に応じていきます。さあ、これで安全に鉄道に乗れるようになったかな？



五井駅にある小湊鐵道車庫の一面は、そこだけ時間が止まっているよう。懐かしい風景の始点です。



レトロ感漂う小湊鐵道車輛。現役最古参はなんと1961年製！



クイズ大会の様子

2時間め：トロッコ列車の乗車体験

教室でのお勉強が終わったら、今度は体験の時間。教室から駅ホームに移動して、待っていたトロッコ列車に乗り込みます。

窓の無い車両に大喜びのみんなは、ホームや線路脇に見えた人達に向かって楽しそうに手を振ります。これには多くの人が手を振り返してくれ、子どもや小湊鐵道に対する地域の暖かい眼差しを感じました。



五井駅ホームで園児たちを待つトロッコ列車



トロッコ列車は笑顔を満載



「鉄道の日」マスコットのテッピーも応援

3時間め：列車と綱引き

次は、本日一番のお楽しみ。列車との綱引き大会！自重 30 t を誇る車両と総勢 71 人の元気の塊が力比べです。「せーの！」の掛け声で綱を引きますが、さすがになかなか動きません。何度目かの「せーの！」でとうとう車両はみんなのパワーに屈して動き出し、園児に軍配。口々に「重かったあ！」「大変だったあ！」なんて言っていますが、その表情はとっても満足げ♪

全部のお勉強を終えたみんなは、今日から立派な「てつどう博士」。小湊鐵道と関東運輸局から認定証を授与し、今日の教室は終了。帰って行くみんなの顔は、すっかり「てつどう博士」の自信に溢れたお姉さん、お兄さんの顔になっていました。そして、その顔はみんなハッピーな笑顔に溢れていたのがとても印象的でした。

実は、小湊鐵道では、開催3日前には大型台風 22 号の影響により線路下の盛土に一部流出被害があり、運休区間が発生（バスによる代行輸送）しているという状況でした。その対応も非常に大変な中、園児との約束を守りたいと敢えて開催を希望し、大急ぎで復旧のめどを立てて教室開催の準備を進めていた小湊鐵道のみなさん。その熱意と頑張りが地域とのつながりを生み出しているのかな、と感じました。



駅舎が有形文化財に指定された「海士有木」駅。さて、何と読むでしょう？



上総中野駅にて。
いすみ鉄道（左）と小湊鐵道（右）

小湊鐵道は、車窓に昭和にタイムスリップしたかのような里山の風景が広がり、列車の規則的な走行音以外に土の匂いと鳥の声くらいしか五感の入力が無い、心が洗われるような列車旅を味わえる路線です。また、終点の上総中野駅では「いすみ鉄道」と接続しており、この2社を乗り継ぐ房総半島横断の列車旅も人気があります。本数が少ない時間帯もありますので、運行時刻は[小湊鐵道 HP](#)にてご確認のうえお出かけください。

鉄道部では、引き続き管内の鉄道事業者と協力して「てつどう教室」を開催し、鉄道輸送の安全確保、地域鉄道の活性化を図っていきます。